

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—22167

⑪ Int. Cl.³
A 63 B 53/04

識別記号

庁内整理番号
6547—2C

⑬ 公開 昭和59年(1984)2月10日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ ゴルフクラブヘッド

燕市大字東太田1845番地株式会
社遠藤製作所内

⑯ 実 願 昭57—118769

⑰ 出 願 人 株式会社遠藤製作所

⑱ 出 願 昭57(1982)8月3日

燕市大字東太田1845番地

⑲ 考 案 者 本宮鉄夫

⑳ 代 理 人 弁理士 牛木護

㉑ 実用新案登録請求の範囲

新案登録請求の範囲第1項記載のゴルフクラブ
ヘッド。

1 中空な金属製クラブヘッドにおいて、プレス等の鍛造によつて、フェース面部とシャフト取付部を有するクラブヘッド前側部と、クラブヘッド後側上半分部和、クラブヘッド後側下半分部をそれぞれ形成し、シャフト取付用パイプをシャフト取付部に固着すると共に、前記クラブヘッド前側部、クラブヘッド後側上半分部和、及びクラブヘッド後側下半分部を固着して一体に形成して成ることを特徴とするゴルフクラブヘッド。

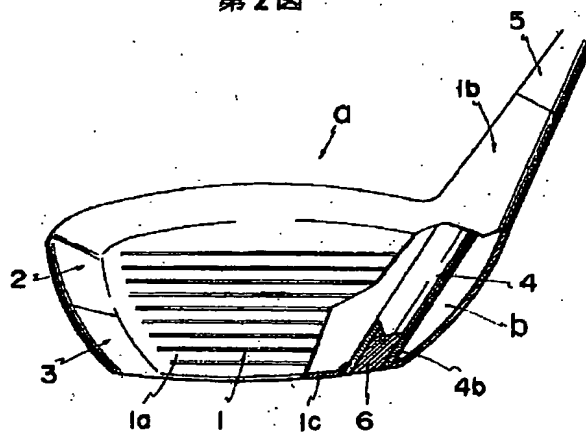
図面の簡単な説明

図面はこの考案の一実施例を示しており、第1図は分解状態を示す斜面図、第2図は一部切欠正面図である。

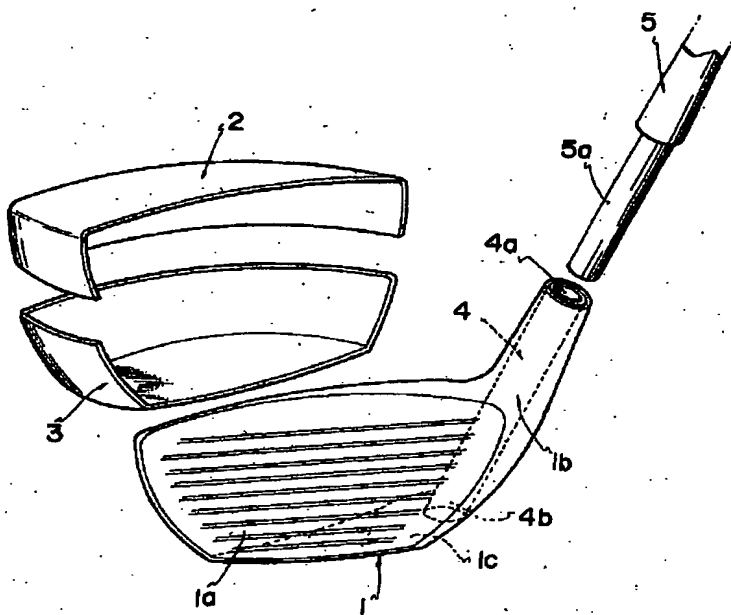
2 シャフト取付用パイプの下端がクラブヘッドの底面部に固着していることを特徴とする実用

1…クラブヘッド前側部、1a…フェース面部、1b…シャフト取付部、1c…底部、2…クラブヘッド後側上半分部、3…クラブヘッド後側下半分部、4…シャフト取付用パイプ、4a…上部、4b…下端、5…シャフト、5a…基端部、6…充填材。

第2図



第1図



昭和57年実願第118768号(実開昭59-22166号、昭和59年2月10日発行公開実用
新案公報59-222号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条
の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl.³ 識別記号 庁内整理番号
A 63 B 53/04 6547-2C

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

- 1 金属製クラブヘッドにおいて、プレス等の鍛造により形成したフェース面部、ヘッド本体先側部、及びシャフト取付けパイプを固着したヘッド本体後側部を一体に固着して成ることを特徴とするゴルフクラブヘッド。
- 2 シャフト取付け用パイプの下端がヘッド本体の底部に固着していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のゴルフクラブヘッド。

昭和57年実願第118769号(実開昭59-22167号、昭和59年2月10日発行公開実用
新案公報59-222号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条
の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl.³ 識別記号 庁内整理番号
A 63 B 53/04 6547-2C

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

- 1 金属製クラブヘッドにおいて、プレス等の鍛造によつて、フェース面部とシャフト取付部を有するクラブヘッド前側部と、クラブヘッド後側上半分部和、クラブヘッド後側下半分部和をそれぞれ形成し、シャフト取付用パイプをシャフト取付部に固着すると共に、前記クラブヘッド前側部、クラブヘッド後側上半分部和、及びクラブヘッド後側下半分部和を固着して一体に形成して成ることを特徴とするゴルフクラブヘッド。
- 2 シャフト取付用パイプの下端がクラブヘッドの底面部に固着していることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のゴルフクラブヘッド。